

平成27年度
災害看護研修会

災害医療訓練の状況

徳島県立三好病院

救急外来 副看護師長

救急看護認定看護師

災害対策委員、日本DMAT隊員

長谷 恵

徳島県の救急医療圏



西部医療圏の人口

| | H25年 | H26年 | H27年 |
|----------|--------|--------|--------|
| 西部医療圏 I | 40,811 | 40,131 | 39,384 |
| 西部医療圏 II | 44,353 | 43,771 | 42,597 |

HP: 医療とくしま

<http://anshin.pref.tokushima.jp/med/>

11機関

災害拠点病院

8機関

【災害拠点病院】

(東部)

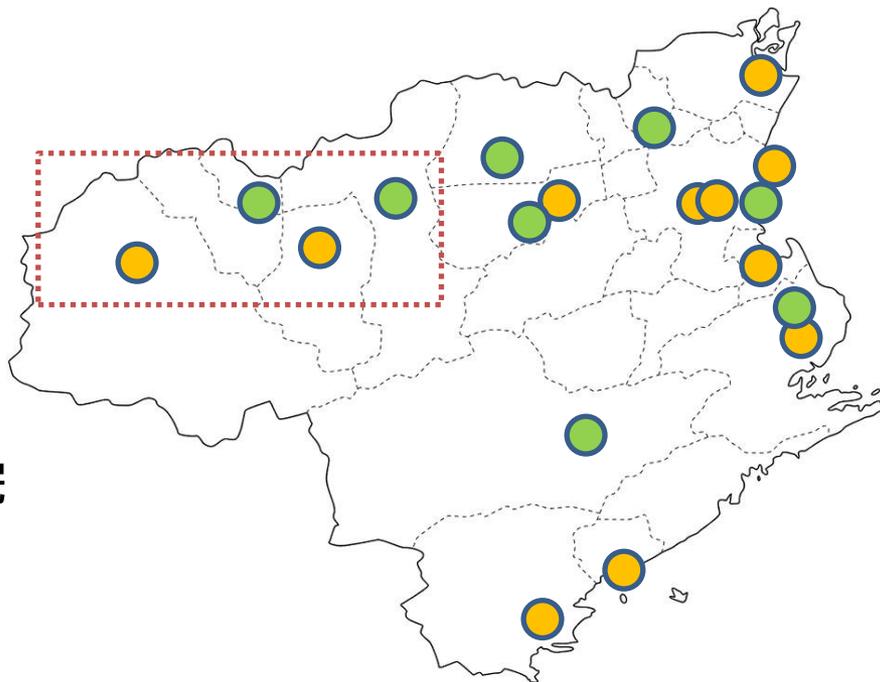
- 県立中央病院(基幹)
- 徳島大学病院
- 徳島市民病院
- 徳島県鳴門病院
- 吉野川医療センター

(南部)

- 徳島赤十字病院
- 阿南医師会中央病院
- 県立海部病院
- 海南病院

(西部)

- 町立半田病院
- 県立三好病院



【災害医療支援病院】

(東部)

- 田岡病院
- 阿波病院

(南部)

- 阿南共栄病院
- 上那賀病院

(西部)

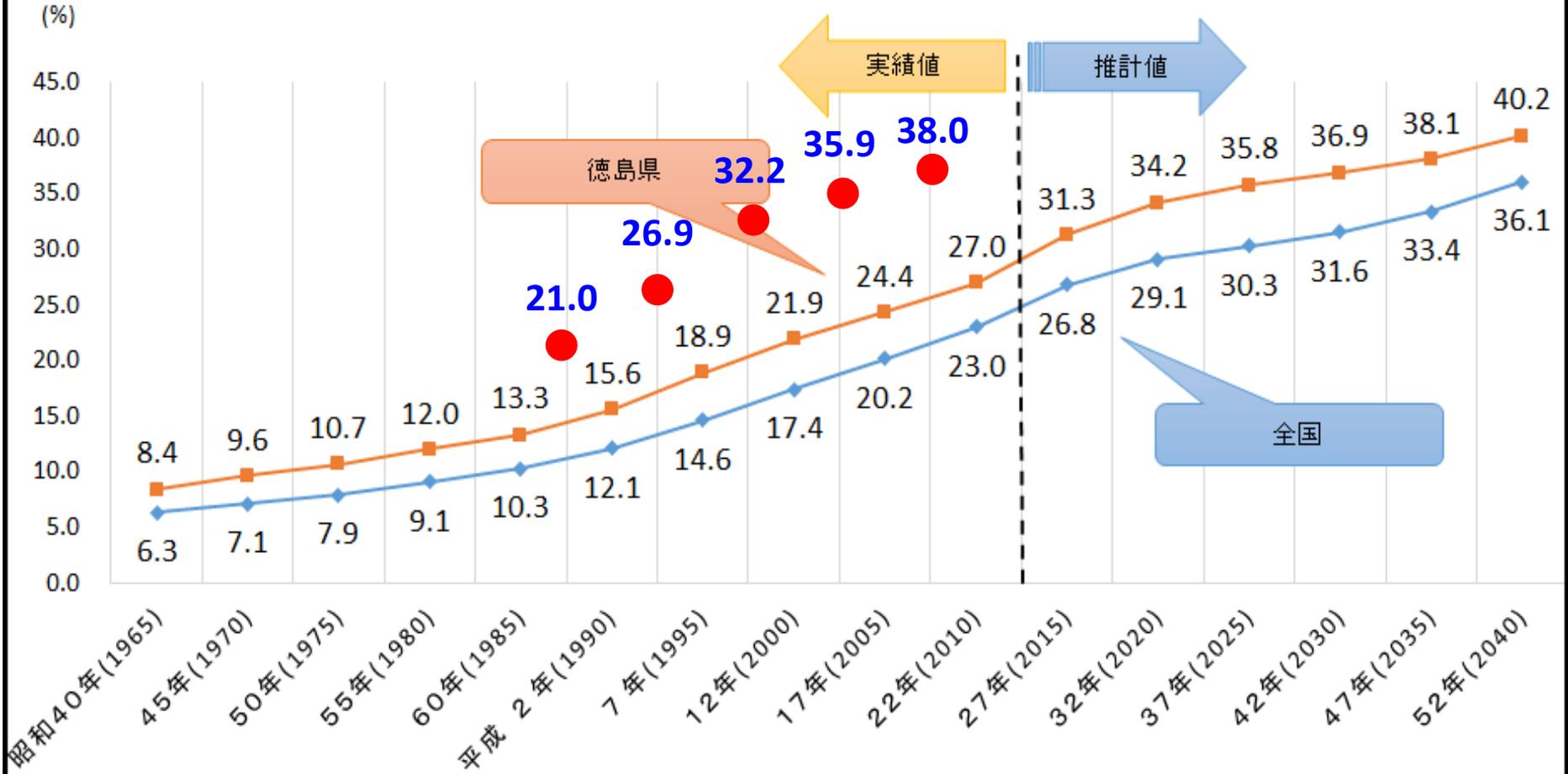
- ホウエツ病院
- 市立三野病院

(専門分野)

- 徳島病院
- 東徳島医療センター
(人工呼吸器患者等の対応)

当院をとりまく環境 — 高齢化率の推移 —

< 高齢化率の推移（全国・徳島県） >



(出所) 実績値は総務省統計局「国勢調査」、推計値は国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」による。

当院の概要



| | |
|------------|-------------|
| 一般病床 | 206床 |
| 集中治療室(ICU) | (4床) |
| 高度治療室(HCU) | (6床) |
| 緩和ケア病床 | (20床) |
| 結核病床 | 8床 |
| 第2種感染症病床 | 6床 |

| | |
|-----------|------------|
| 医師 | 27 |
| 看護師 | 225 |
| 医療技術局 | 39 |
| 事務 | 41 |
| 総数 | 332 |

内容

1. 院内での訓練
2. 地域に向けた訓練
3. 今後の課題

平成26年8月 新棟移転しましたが...

- 既存建物の補修をしつつ、新旧の設備が混在している状態
- あちらこちらで工事が継続
- 災害時受入れ動線など、常に見直しが必要

できるところから やろう!!

院内での訓練 H26年度

11月11日 災害講義（講師はDMATが担当）

11月18日 中等症エリア展開訓練

11月25日 訓練の振り返り

中等症エリア運営訓練

【目的】

- 新病棟1階廊下に設置された医療用の酸素配管、吸引配管を使用した中等症患者エリアの配置について検討
- 中等症エリアに必要な資機材・物品の検証
- 災害用IDを使用した検査(X線・検体検査)の検証

【訓練想定】

- 近隣の高速道路でのバス事故による
多数傷病者受入れ

院内での訓練

H27年度

- 衛星携帯電話(定期)通信訓練 毎月第2月曜日 17:30~

【目的】 DMATメンバーの技能維持

管理当直師長やDMAT以外の事務職員の

技能向上(災害時本部要員となるため)

- 院内スタッフ対象の研修

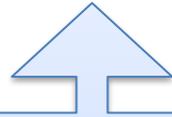
| | | | |
|----|---------|-------|-----------|
| 7月 | EMIS訓練 | 1月 予定 | 軽症エリア対応訓練 |
| 8月 | 無線通信 | 2月 予定 | 図上訓練 |
| 9月 | 災害トリアージ | 3月 予定 | 災害対応訓練 |

地域に向けた訓練

地域に向けた訓練 H26年度

11月26日 災害時の炊き出し訓練

- ・社会福祉協議会の職員
- ・病院職員（主に災害対策委員）
- ・病院周辺の地域住民



もともとは、防災用炊き出し釜の試運転が目的だった
病院職員だけで作って食べる??
せっかくの機会なのに・・・（というつぶやき）

**どうせやるなら
地域の方にも参加してもらおう!!**

安心した矢先のこと・・・

平成26年12月5日
三好市雪害



害

病院で起こっていたこと



『停電のため、CAPD(腹膜透析)ができない』

市役所福祉課に連絡⇒消防団が発電機を持って患者宅
に向かっている

機械が作動しない場合は、どんな方法でもよいので病院
に患者を連れてきてもらうよう依頼

(泌尿器科医師より 1日透析できなくても問題ない状態)

翌12月6日 22時過ぎ

発電機で3時間腹膜透析を行ったが燃料切れで発電機も
止まってしまった

⇒ 救急車要請 ⇒ 救急受診 ⇒ 入院

災害の備えって・・・

- 在宅人工呼吸、在宅酸素、腹膜透析などを行っている患者のリストは？
- 薬がきれそうな人は？
- 停電による寒さ、食料は？
- 体調を崩している人は？



個々が...
地域が...
病院が...
公的機関が...

想定〔備え〕しておく必要がある

地域に向けた訓練 H27年度

- 5月7日 **災害時・在宅酸素勉強会**
- ・保健師連絡協議会の依頼
 - ・在宅酸素の勉強会(在宅酸素業者による)
- 6月21日 **地域自主防災会での講演**
- ・災害支援の経験から考える備え
- 7月8日
- 7月9日 **災害講演(介護予防講演)**
- 7月21日
- ・地域住民 約80名/回

H27.6月 地域自主防災会総会への参加

自主防災会の悩み

- 高齢者が増えてきている
- 自主防災会に参加できる人も減ってきている
- どのような備えをすればいいのか
- どのような訓練をすればいいか

Message

薬を出してほしいと言われても・・・

- 救護所や診療所には通常病院にあるものがない
酸素、検査機器、心電図、レントゲンなど
- 患者の現在の状態を知る方法は限られている
- どんな病気と言われていたのかわからない人がいる

**常に飲んでいる薬の内容がわからないと
治療の継続は難しい**

衣類や食料は さまざまな支援で補えます

お薬は『オーダーメイド(あなただけのための処方)』

飲んでいる薬がわかるものを

持ち出せるようにしておくことが重要！

H27.7月災害講演
in 山城いきいきサロン

H27.7月 災害講演
in 池田保健センター

H27.7月 災害講演
in 東みよし町役場

【災害想定】

平成25年6月30日(日)14時00分

震源:南海トラフ マグニチュード7

- ・徳島県内各地 **震度6強観測**
- ・徳島県東部及び南部沿岸 **津波襲来**
- ・公共交通機関(バス, JR等) **全て運休**



発災

結果

- 約9割(227名)の職員が参集可能
 - 187名が60分以内に参集可能
 - しかし、参集方法は8割が自動車
 - 徒歩・バイクでの参集は43名
-
- 道路の陥没や緊急輸送道路時での交通規制で自動車不能使用できない。(参集手段が限定)
 - 発災が夜間である。(周辺の状況把握ができない)

災害時の当院の役割

▶ 災害時に災害拠点病院機能の維持・継続

災害時における初期救急医療体制の充実強化を

図るための医療機関

- ①24時間、災害対応(傷病者受入れ・搬出)
- ②ヘリコプター等による重症傷病者の受入れ・搬送
- ③消防機関(緊急消防援助隊)と連携した救護班の派遣
- ④ヘリコプター同乗医師の派遣・サポートする医療設備・体制、情報収集システム等

今後の課題

災害拠点病院機能の維持・継続

- ◆ 職員人数・夜間・休日・ライフラインなど最悪条件を想定した訓練
 - ・災害対策本部の立ち上げ
 - ・入院患者の安全確保(避難)
 - ・職員の安否確認
 - ・情報収集 など
- ◆ 地域住民との連携
 - ・地域住民の自助・共助の支援



備え

~~誰かがしてくれる~~

**病院全体で
みんな
災害対策に取り組む!!**